

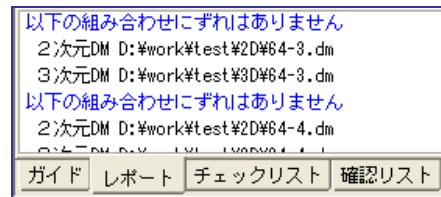
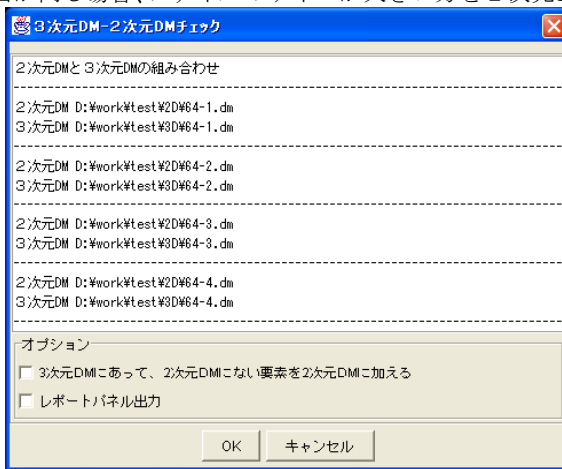
[砂防基盤地図]-[3次元-2次元DMチェック]で、複数のファイルをまとめてチェックできるようにしました。以下、操作説明書からの抜粋です。

【3次元DM-2次元DMチェック】 (GeoCoach3D の機能です)

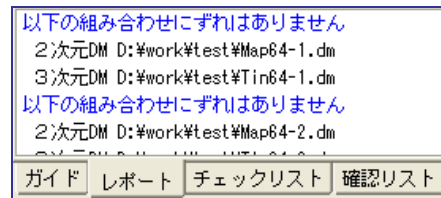
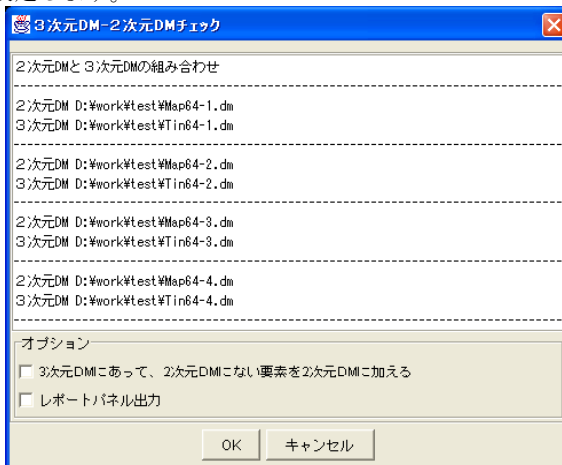
3次元DMファイルにあり、2次元DMファイルにない要素をリストアップします。3次元DMについて、2次元DMとの違いを検出するために使います。面・線・点要素について、同一XYZ座標の線分と点の重なりをチェックします。3次元DMについて、2次元DMと重なっていない箇所をリストアップします。分類コードや間断区分、図形区分には関係なく、座標のみでチェックします。

3次元DMファイルと2次元DMファイルの両方が開かれた状態で3次元DMファイルと2次元DMファイルの組を判定します。

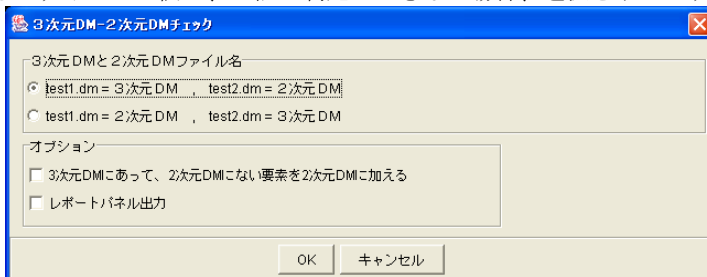
ファイル名が同じ場合、ファイルのサイズが大きい方を2次元DMファイルとしてチェックする組み合わせを設定します。



ファイル名の先頭に”Map” がつけば2次元DMファイル、”Tin” がつけば3次元DMファイルとしてチェックする組み合わせを設定します。



開いているファイルが2個で、上記の判定ができない場合、選択を求めます。



[チェックリスト]パネルに結果を表示します。要素の一部がずれている場合、そのずれている箇所の数だけリストアッ

プします。

(3) 2次元 DMIに同じ座標の点要素なし 分類コード：7312(図化機測定による標高点) [3次元要素] (5727.22, 35336.50, 1401.28)
(4) 2次元 DMIに同じ座標の点要素なし 分類コード：7312(図化機測定による標高点) [3次元要素] (5700.00, 35324.66, 1405.36)
(5) 2次元 DMと一部重なり、一部ずれている 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5692.07, 35579.52, 1326.07)
(6) 2次元 DMと一部重なり、一部ずれている 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5705.99, 35612.50, 1328.62)
(7) 2次元 DMと一部重なり、4 個の部分がずれている 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5735.26, 35650.96, 1339.03)
(8) 2次元 DMと一部重なり、4 個の部分がずれている 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5713.74, 35672.49, 1335.48)
(9) 2次元 DMと一部重なり、4 個の部分がずれている 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5702.33, 35613.49, 1328.62)
(10) 2次元 DMと一部重なり、4 個の部分がずれている 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5693.50, 35581.73, 1326.76)
(11) 2次元 DMIに該当する要素なし 分類コード：2101(真幅道路(街区線)) [3次元要素] (5517.60, 35611.61, 1284.79)
ガイド レポート チェックリスト 確認リスト

[3次元DMにあって、2次元DMにない要素を2次元DMに加える]は、2次元DMに同じ座標の要素がない場合、その要素を2次元DMに追加します。一部でも重なっている場合は、ずれているとみなし、追加の対象にはなりません。一旦、ずれを修正し、明らかに該当する要素が2次元DMにないものだけが残った状態で実行してください。例えば、2点の線要素が2点ともずれている場合、同じ要素がないと判定しますが、表示を見てみると2点ともずれていることが判明するケースがあります。この場合、その2点を移動させることで修正しなければなりません。